

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	文化財課	職	課長	氏名	岡田 義彦
評価者	組織	文化財課	職	課長	氏名	中川 智夫

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	文化財の保存と活用	1 国・県指定文化財件数	件	570 (H27)	547 (H22)	550 (H23)	A
		2 輪島漆芸技術研修所卒業生	人	800 (H27)	703 (H22)	721 (H23)	
		3 埋蔵文化財センター入館者数	人	12,000 (H27)	16,364 (H22)	16,021 (H23)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1	有形文化財等の保存と活用	件	570 (H27)	547 (H22)	550 (H23)	有形文化財等保存・活用事業 ※1	県民・所有者等	209,291	176,966	A	継続
	課題2	埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用	人	12,000 (H27)	16,364 (H22)	16,021 (H23)	埋蔵文化財発掘調査促進・公開・活用事業 ※2	県民	343,749	325,870	A	継続

※1 内訳		
金沢城石川門保存修理事業費(H16～)	130,000	112,000
有形文化財保存事業費	40,775	36,310
ふるさと文化財地域活性化事業	12,558	10,611
史跡名勝天然記念物保存事業費	6,646	5,743
ふるさと文化財調査推進事業費	1,327	1,327
世界遺産推進事業費	17,985	10,975
※2 内訳		
県営ほ場整備関連等緊急発掘調査事業費	1,724	2,590
埋蔵文化財緊急発掘調査受託事業費	331,165	312,420
埋蔵文化財保存事業費	6,360	6,360
古代ふれあい体験事業費	4,500	4,500

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 有形文化財等の保存・活用事業	事業開始年度 H8	事業終了予定年度	作 組 織 文化財課 成 職・氏名 庶務・文化財管理グループリーダー 京正健 者 電話番号 076 - 225 - 1842 内線 5622
	根拠法令・計画等	文化財保護法他	

事業の背景・目的

本県の歴史・文化を反映した有形文化財等の適切な保存・整備及び積極的な公開・活用を図る。

事業の概要

- 1 有形文化財(建造物、美術工芸品)の保存と活用
 - (1) 老朽化の著しい建造物及び美術工芸品についての保存修理事業
 - (2) 有形文化財の積極的な公開・活用の促進
- 2 記念物(史跡・名勝・天然記念物)の保存と活用
 - (1) 損傷の著しい記念物についての保存修理事業
 - (2) 史跡等の公有地化や復元整備事業による積極的な整備・活用の促進
- 3 文化財に係る各種調査の推進及び普及啓発
 - (1) 文化財の価値を明らかにするための各種調査事業
 - (2) 調査成果に基づく文化財指定の促進
 - (3) 世界遺産登録推進等の普及啓発活動への助成

事業内容	事業実施主体	事業費		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度
金沢城石川門保存修理事業	石川県	117,840	110,000	112,000
有形文化財保存事業費	所有者	34,124	46,256	36,310
ふるさと文化財地域活性化事業費	所有者	23,368	38,543	10,611
史跡名勝天然記念物保存事業費	市町・所有者	6,879	13,371	5,743
ふるさと文化財調査推進事業費	石川県他	3,347	2,035	1,327
世界遺産推進事業費	キャンペーン推進会議他	18,301	13,900	10,975
合 計		203,859	224,105	176,966

これまでの見直し状況

文化財の指定件数の増加や、近年文化財を保存することに加え、積極的な公開・活用が求められることから、財政負担は増加傾向にあるため、国指定文化財(建造物)の補助率の見直しや、補助事業のセレクト、事業期間の平準化等を実施することで、事業の効率的な推進に努めている。

施策・課題の状況

施策	文化財の保存と活用	評価	A
課題	有形文化財等の保存と活用		
指標	国・県指定文化財件数	単位	件
目標値	現状値		
	平成27年度	平成19年度	平成20年度
	570	527	533
			平成21年度
			540
			平成22年度
			547
			平成23年度
			550

事業費

(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
事業費	予算	242,365	205,403	204,035	225,034	209,291
	決算	231,820	205,403	203,859	224,105	176,966
一般	予算	167,713	129,513	120,867	150,989	124,791
財源	決算	157,260	129,513	120,691	150,060	102,037
事業費累計		1,700,801	1,906,204	2,110,063	2,334,168	2,511,134

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	文化財に係る各種調査の推進により、国・県指定文化財の件数が順調に増加しており、また、保存修理事業等により文化財の保存・活用が進められた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、本県の個性豊かな歴史と文化を保存・伝承し、県内外に発信するため、文化財の掘り起こしに努め、文化財指定を進める。 また、建造物や美術工芸品等の保存修理事業を推進するため、文化財パトロールなどにより、文化財の保存管理状況を把握し、保存修理事業の計画的な実施に努める。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 埋蔵文化財発掘調査促進・公開・活用事業	事業開始年度	H10	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	文化財保護法等		

作 組 織	文化財課
成 職・氏名	埋蔵文化財グループリーダー 川畑 誠
者 電話番号	076 - 225 - 1842 内線 5627

事業の背景・目的
埋蔵文化財の発掘調査等を促進し、適切な保存に努め、調査成果等の積極的な公開・活用を図る。

- 事業の概要**
- 1 埋蔵文化財分布調査等の実施
 - (1) 開発事業等に伴う埋蔵文化財分布調査等(資料調査・現地踏査・試掘調査)の実施
 - (2) 現状保存を目的とする範囲・内容・性格等把握のための埋蔵文化財確認調査等の実施
 - 2 開発事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査等の実施
 - (1) 農業基盤整備事業等に伴う農家負担分に係る発掘調査等の実施
 - (2) 国等の機関が行う開発事業等に伴う発掘調査等の実施
 - (3) 個人住宅建設等に伴う発掘調査等の実施
 - 3 埋蔵文化財保存・公開・活用事業の実施
 - (1) 埋蔵文化財の保存・公開に係る出土品保存処理の実施
 - (2) 埋蔵文化財の整備・公開・活用事業の実施

事業内容	事業実施主体	事業費		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度
県営ほ場整備関連等緊急発掘調査事業 ・埋蔵文化財分布調査等の実施 ・埋蔵文化財発掘調査等の実施	石川県	2,540	2,844	2,590
埋蔵文化財緊急発掘調査受託事業 ・埋蔵文化財発掘調査等の実施	石川県	702,162	853,713	312,420
埋蔵文化財保存事業 ・埋蔵文化財分布調査等の実施 ・埋蔵文化財確認調査等の実施 ・埋蔵文化財発掘調査等の実施 ・出土品保存処理の実施 ・埋蔵文化財整備公開活用事業の実施	市町	5,800	6,125	6,360
古代ふれあい体験事業 ・埋蔵文化財周知・紹介事業の実施	石川県	4,171	4,170	4,500
合 計		714,673	866,852	325,870

これまでの見直し状況
平成10年に石川県埋蔵文化財センター及び財団法人 石川県埋蔵文化財センターを設置・設立し、発掘等体制の強化を図るとともに、平成13年度には「古代体験ひろば」を開設し、調査の促進に併せて、成果等の公開・活用に係る出土品整理等及び体験ひろば等を活用した各種普及啓発事業の推進に努めている。

施策・課題の状況							
施策	文化財の保存と活用					評価	A
課題	埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用						
指標	埋蔵文化財センター入館者数(年間)					単位	人
目標値	現状値						
平成27年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
12,000	14,444	12,580	15,282	16,364	16,021		

事業費						
(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
事業費 予算	467,092	410,788	714,673	869,815	343,749	
事業費 決算	407,974	410,788	714,673	866,852	325,870	
一般 予算	16,245	11,634	9,788	10,051	9,472	
財源 決算	15,705	11,634	9,788	10,051	9,905	
事業費累計	4,728,081	5,138,869	5,853,542	6,720,394	7,046,264	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	埋蔵文化財調査については、近年、開発事業等に伴う発掘要望に全て対応しているほか、発掘成果として、津幡町で出土された「加賀郡勝示札」が、国指定重要文化財に指定されている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、開発事業等に伴う発掘調査を促進するとともに、歴史・文化のシンボルとしての埋蔵文化財の積極的な保存・公開・活用を図るため、発掘成果等の公開及び普及啓発事業を推進する。